

No.2063



教育ルネサンス

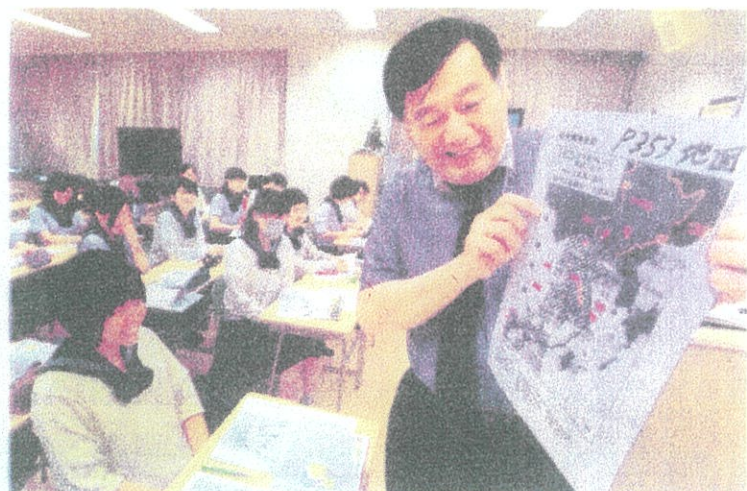
歴史教育 5

この日、日本で軍部の政治介入が顕著な契機となった2・26事件を扱う時は、当時の東京都市の地図を使い、首相官邸などと関連する建物を確認した。満州

カーで塗りつぶした。

高校の歴史教育では、地理の内容と関連づけられることで生徒の理解を促す取り組みが進む。

6月中旬、私立大妻高校(東京都千代田区)で行われた3年の日本史の授業。テーマは日中戦争(1937～45年)で、中国の国民政府が首都を南京から



地図を使いながら日中戦争について説明する寺尾さん(6月、東京都千代田区)。＝飯島啓太撮影

は積極的に地図を示し、地名の由来にも

寺尾さんは、日本史の教員を長年務めた経験から「位置関係や地形など空間的な理解がなければ歴史の理解も深まらない」と強調。授業では積極的に地図を示し、地名の由来にも

「浮かべやすい」と話す。

藤田教頭は、世界の諸地域に関する授業でも、近現代史を取り上げる。ウクライナ問題やギリシャ危機に揺れる欧州の場合、冷戦や欧州連合(EU)の経緯などをたどる。「なぜ今の

に決まっているのか。少し歴史をたどると原因や背景が見えてくる」と意識を強調する。

6月上旬、私立文通開成高校(千葉県鴨川市)2年の地理の授業。季節風の学習で取り上げるのは、7～9世紀に日本と中国を往來した遣唐使船だった。

藤田教頭(41)は復元された帆船の写真を示し、「9月頃、中国に向かう時は東から吹く風、2～3月に日本に戻る時は西からの風を利用した」と解説した。嵐で難破する船が描かれた絵を見せながら遭難が多発したことを伝え、生徒たちには驚きの表情が浮かんだ。堀江南帆さん(16)は「遣唐使船のよう

な具体的な話と結びつけると、頭に染みやすい」と語る。

この関係や地球規模の環境問題などを理解するには、地理、歴史の視点がともに欠かせない。双方の連携を進め、バランスよく学ぶ必要がある」と話す。

所隆・高崎経済大学名誉教授は「グローバル化の中で、外国との関係や地球規模の環境問題などを理解するには、地理、歴史の視点がともに欠かせない。双方の連携を進め、バランスよく学ぶ必要がある」と話す。

5月、日本地理学会が東京都内で開いた「高校地理教育シンポジウム」には高校教員ら約150人が参加し、「地理と世界史を融合することで世界の諸地域について多角的に理解を深められる」という、歴史と連携した授業の必要性を訴える意見が相次いだ。地理学が専門の戸

必修。地理は日本史とともに選択科目で、入試科目から外す大学もある。文部科学省の2013年度の調査では、公立高校生の地理の履修率は53%で、日本史(60.4%)を下回った。

姿があるのか。少し歴史をたどると原因や背景が見えてくる」と意識を強調する。

高校の地理歴史科は世界史が必修。地理は日本史とともに選択科目で、入試科目から外す大学もある。文部科学省の2013年度の調査では、公立高校生の地理の履修率は53%で、日本史(60.4%)を下回った。

また、検定審は、検定する際の体制策についても考慮。道徳教育に精通した教員の人材で教科書1冊の内容を検討し、必要に応じて道徳以外の専門家からも意見を聞くとしている。

道徳教科書の検定

小中学校で2018年度以降「特別の教科」に位置付けられる道徳の教科書検定基準について、文部科学省の教科用図書検定調査審議会(検定審)が、問題解決や体験的な学習に配慮することなどを盛り込んだ骨子案を大筋で了承

問題解決、体験的な学習に配慮

の読み物が中心で授業が形式的な指導がある。このため、骨子案では、問題解決や体験的な学習のほか、発達段階に即して多角的に考えをかわるような配慮がなされているかといった検定基準を設けるとした。

また、検定審は、検定する際の体制策についても考慮。道徳教育に精通した教員の人材で教科書1冊の内容を検討し、必要に応じて道徳以外の専門家からも意見を聞くとしている。

地理と連携 多角的に理解